



®環境省
エコアクション21

認証番号0007651

エコアクション21 環境経営レポート



2023年度 (レポートの対象期間：2023年5月～2024年4月)

発行日 2024年 6月 1日

第14版



株式会社 伊藤製作所

目 次

	P
I 組織の概要	1～2
II 環境経営方針	3
III 環境経営目標	4
IV 環境経営計画	5
V 環境経営計画に基づき実施した取組内容 ・実施体制（役割・責任及び権限）	6～11
VI 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価 ・環境負荷の状況	12～16
VII 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	17～18
VIII 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	19
IX 代表者による全体の評価と見直し・指示	20

I. 組織の概要

1. 会社名及び代表者氏名

会社名 株式会社 伊藤製作所
代表者 代表取締役 伊藤大史

2. 所在地

〒419-0313
事務所、本社工場 静岡県富士宮市西山2442-2
西山工場 静岡県富士宮市西山1866

3. 創業

昭和43年3月

4. 資本金

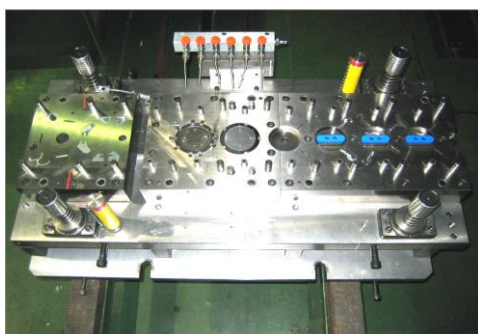
1,000万円

5. 環境管理責任者名及び連絡先

管理責任者 品質保証 勝亦正志
連絡先 TEL 0544-65-3777
FAX 0544-65-3778
E-MAIL m.katsumata@itou.co.jp

6. 事業活動及び製品サービス

家電・自動車部品のプレス・板金加工、スポット他溶接、サブ組立、及びプレス金型・治工具・検具の設計・製作



7. 事業の規模 (事業年度 5月～4月)

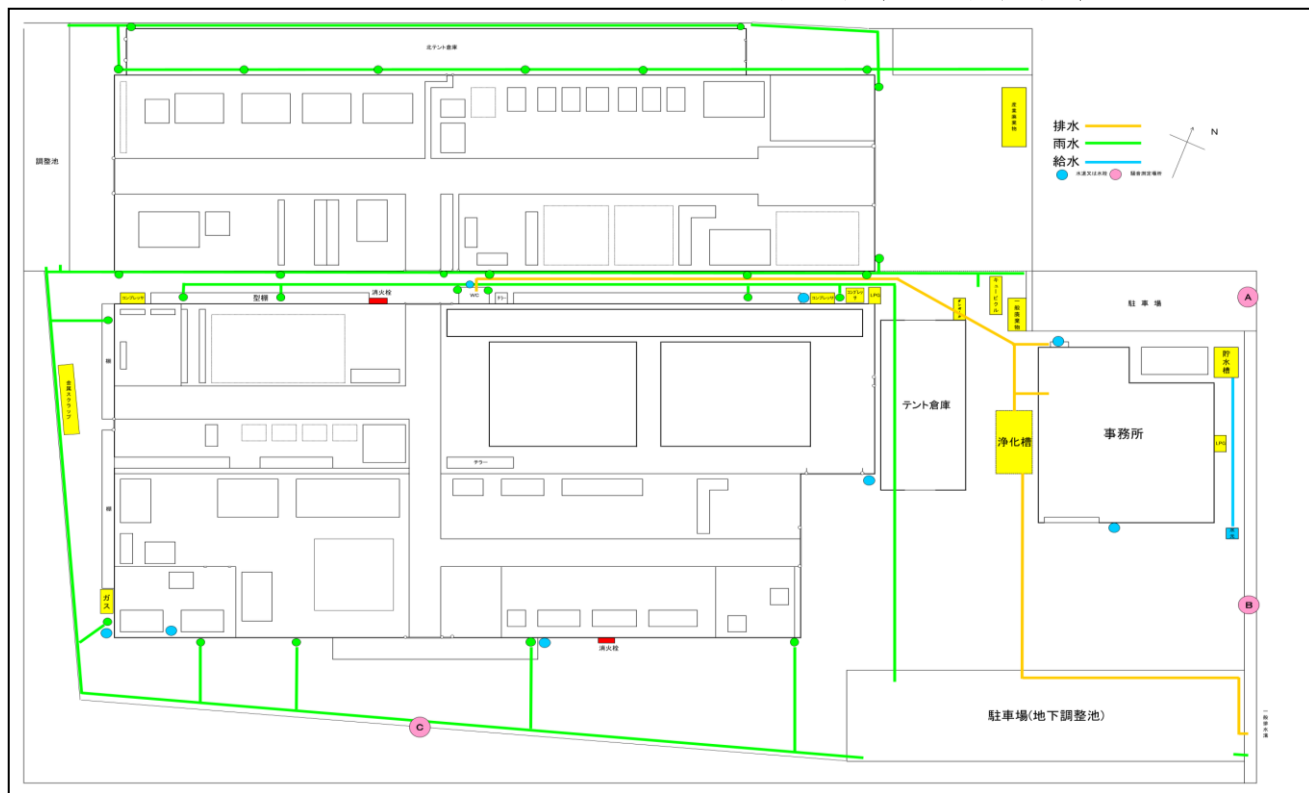
活動規模	単位	対象範囲	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
生産数	千個	全体	5,506	5,745	5,215	5,491	5,103	3,765
売上高	百万円	全体	1042	958	894	937	1158	1029
従業員	人	全体	56	57	58	61	64	63
敷地面積	m ²	本社・工場	9,619	9,619	9,619	9,619	9,619	9,619
		西山工場	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
床面積	m ²	本社・工場	3,800	3,800	3,800	4,091	4,091	4,091
		西山工場	377	377	377	377	524	524

8. 敷地概要

- ◎ 都市計画法での用途地域指定：一部を除く市街化調整区域
- ◎ 静岡県生活環境の保全等に関する条例での地域指定
 - ・ 騒音：第2種区域
 - ・ 振動：第1種区域の2

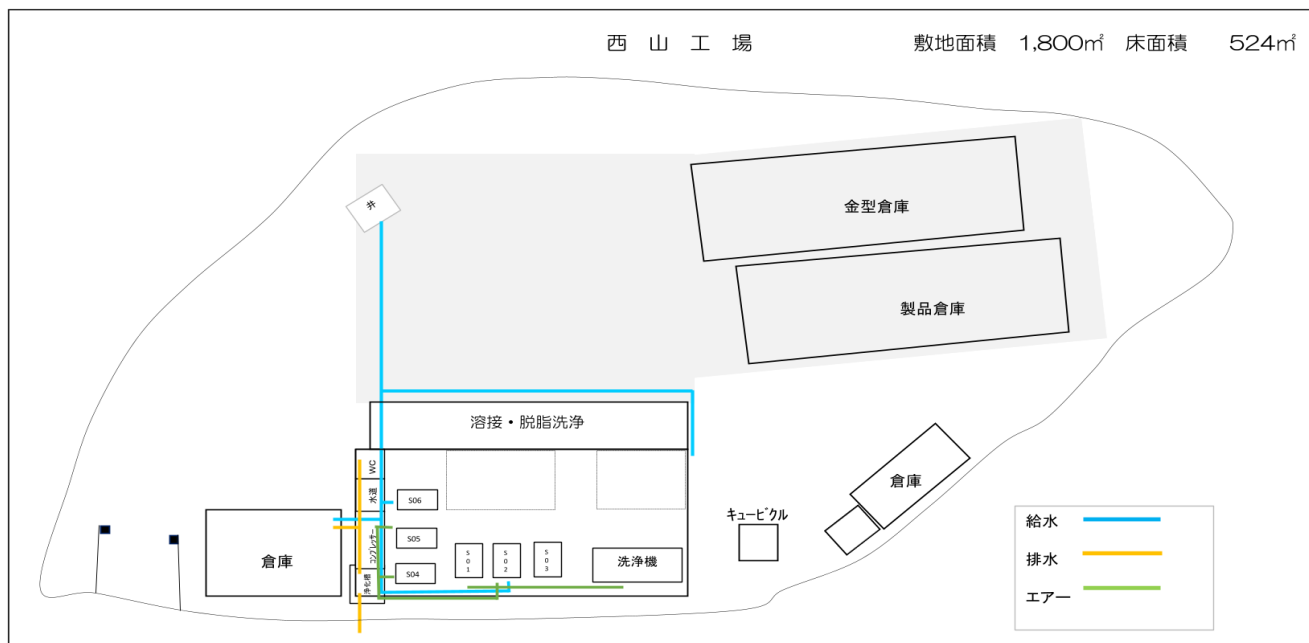
本 社 工 場

敷地面積9,619㎡、床面積4,091㎡



西 山 工 場

敷地面積 1,800㎡ 床面積 524㎡



9. 対象範囲（認証・登録）

（対象期間） 5月～翌年4月

組織の対象範囲(全組織)

株式会社 伊藤製作所 事務所、本社工場及び西山工場

認証登録対象範囲

家電・自動車部品のプレス・板金加工、スポット他溶接、サブ組立、及びプレス金型・治工具・検具の設計・製作

Ⅱ．環境経営方針

【基本理念】

当社は社是「誠心・誠意」に則り、金属製品の製造・販売をしている会社として

環境負荷の低減に配慮した生産活動をし、品質・環境と調和した金属製品の提供に努めます。

そして“かけがえのない地球環境”を守る為、全従業員で品質・環境保全活動を推進します。

【行動指針】

- ① 信頼性、経済性を考慮に入れ顧客ニーズを常に掴み敏速な対応に努めます。
- ② 品質と環境の大切さを認識し、全体の仕事を基本に忠実にを行い全従業員の能力を最大限に引き出します。
- ③ 方針に従って品質・環境目標を設定し、PDCAサイクルが持続的に展開され管理目標の達成に努めます。
- ④ 経営の課題とチャンスを明確にし、改善活動に努めます。
- ⑤ 品質・環境に関する教育を全従業員に行い、品質・環境保全の意識を高めます。
- ⑥ 環境関連法規制や当社が定めた事を遵守します。
- ⑦ 環境保全活動の推進において地域社会との協調連帯を図ります。
- ⑧ 二酸化炭素、水、産業廃棄物の排出量削減とリサイクル推進に努めます。

制定日： 2010年12月20日

改定日： 2022年 5月30日

株式会社 伊藤製作所
代表取締役 伊藤大史

Ⅲ. 環境経営目標

環境経営目標項目		推進部門	単位	基準値	目標					
				2020年度		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
二酸化炭素排出削減 (省エネルギー) *1 *2 7 再生可能エネルギーを積極的に活用する 11 気候変動に臨み、まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に臨み、まちづくりを <td rowspan="3">全体</td> <td>%</td> <td>100</td> <td rowspan="3">目標</td> <td>-3</td> <td>-4</td> <td>-5</td> <td>-6</td>		全体	%	100	目標	-3	-4	-5	-6	
			kg-CO ₂ /百万円	419		406	402	398	394	
			kg-CO ₂	374,819		365,220	362,245	359,269	356,294	
		電力使用量	本社	kwh	601,741	絶対量 (総量)	583,689	577,671	571,654	565,637
				kg-CO ₂	265,368		257,407	254,753	252,099	249,446
			西山	kwh	37,944		36,806	36,426	36,047	35,667
				kg-CO ₂	16,733		16,231	16,064	15,897	15,729
			全体	kwh	639,685		620,494	614,098	607,701	601,304
				kg-CO ₂	282,101		273,638	270,817	267,996	265,175
		ガソリン使用量	全体	ℓ	1,872		1,853	1,853	1,853	1,853
				kg-CO ₂	4,345		4,301	4,301	4,301	4,301
		軽油使用量	全体	ℓ	24,000		23,760	23,760	23,760	23,760
				kg-CO ₂	62,976		62,346	62,346	62,346	62,346
		灯油使用量	本社	ℓ	3,600		3,600	3,600	3,600	3,600
				kg-CO ₂	8,971		8,971	8,971	8,971	8,971
			西山	ℓ	400		400	400	400	400
				kg-CO ₂	997		997	997	997	997
			全体	ℓ	4,000		4,000	4,000	4,000	4,000
				kg-CO ₂	9,968		9,968	9,968	9,968	9,968
		LPG使用量	全体	kg	5,143		4,989	4,937	4,886	4,834
				kg-CO ₂	15,429		14,966	14,812	14,658	14,503
廃棄物排出量削減（リサイクル推進）										
11 気候変動に臨み、まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 15 陸の豊かさを保ち、増やす	一般廃棄物排出量削減 (リサイクル) *3	全体	%	100	目標	-1	-1	-1	-1	
			kg/百万円	2.73		2.71	2.71	2.71	2.71	
	ダンボール、新聞紙、コピー紙	全体	kg	2,444	2,420	2,420	2,420	2,420		
			一般廃棄物排出量削減 (最終処分) *3	全体	%	100	目標	-1	-1	-1
	kg/百万円	5.50	5.45		5.45	5.45	5.45			
	可燃ごみ	全体	kg	4,920	4,871	4,871	4,871	4,871		
	産業廃棄物排出量削減 *4 (リサイクル) 木くず、廃プラスチック		全体	%	100	目標	-1	-1	-1	-1
	kg	6,860		6,791	6,791	6,791	6,791			
総排水量削減（節水）										
6 安全な水とトイレを世界中に 14 海の豊かさを保ち、増やす	水使用量削減 *5	全体	%	100	目標	-1	-1	-1	-1	
			m3（全社）	583		577	577	577	577	
			m3（本社工場）	495		490	490	490	490	
			m3（西山工場）	88		87	87	87	87	

*1 基準年の二酸化炭素排出係数は 0.441 kg-CO₂/kwh（東京電力EP 2019年）を使用する。

*2 二酸化炭素排出量は、生産量(売上高)に比例する部分が多い為、目標値は総排出量を売上高で割った値(kg-CO₂/百万円 原単位)を使用する。

軽油の基準値は2020年度の実績値を見直した値で使用する。

*3 一般廃棄物排出量は、生産量(売上高)に比例する部分が多い為、目標値に使用する数値は、排出量を売上高(百万円)で割った値(kg/百万円 原単位)を使用する。

*4 産業廃棄物(木くず)排出量の目標値は総量(kg)を使用する。

*5 水使用量削減目標値は総量を使用し、本社工場と西山工場の合算した目標とする。

・ 化学物質削減は少量のため、数値目標とはしない。

Ⅳ. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

★印＝新たな取り組み

2023年度活動計画内容			手 段	推進者	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
◆二酸化炭素排出量削減																
電力消費量の削減		昼休み、使用時以外の照明消灯	ルール遵守・確認	増田	昼休み時間の消灯推進											
		空調の適温化(設定温度：夏28℃冬20℃)	ルール遵守・確認	望月		28℃設定					20℃設定					
		エアコンフィルターの定期清掃	ルール遵守・確認	勝亦			フィルタ清掃				フィルタ清掃					
		エアコン、冷却機器の簡易点検	法令順守・確認	坪井	点検と記録			点検と記録			点検と記録			点検と記録		
		PC、OA機器の省電力化設定にする	ルール遵守・確認	芦澤	PCスクリーンセ이버、コピー機節電待機モードの実行											
		夜間、休日のOA機器の主電源をオフする	ルール遵守・確認	芦澤	退勤時の主電源オフを徹底											
		クールビズ・ウォームビズの励行	ルール遵守・確認	勝亦	ブラインド、作業着軽装対応											
	★	コンプレッサー昼休み時間の停止	ルール遵守・確認	高杉/志村	昼休み時間のスイッチオフ					3/27 点検・更新見積、17流量調査						
		ピークデマンドの監視と月例報告	維持管理	勝亦												
	★	新設備導入による省エネと生産性向上	改善・確認	伊藤	★インバータポンプ機		★300tが-5℃以下、80tが1℃以下導入		★大型プレスの生産性について現状調査と生産性向上に向けた改善		10～3月					
化石燃料の削減	灯油	冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善	改善・確認	勝亦						灯油使用量の管理推進						
	ガソリン、軽油	燃費集計、エコドライブ、安全な運転	改善・確認	池田												
	LPG	アイドリング時間停止、フォークリフト安全速度運転	ルール遵守・確認	池田												
◆廃棄物排出量削減																
一般ゴミの削減			ルール遵守・確認	高杉	個人ゴミを持ち込まないを徹底											
ゴミ分別とリサイクルの推進	★	ダンボール、包装紙分別、リサイクルの励行	ルール遵守・確認	高杉	分別の呼びかけと定期確認			材料包装紙のリサイクル開始								
		コピー紙の両面積極的使用	ルール遵守・確認	芦澤	コピー裏紙使用の推進											
		PPバンド、容器袋の再利用推進	ルール遵守・確認	池田	使い終わったPPバンドやビニール袋の回収と再利用推進											
産廃物の削減		木枠、プラ容器パレットの返却と置場整頓	ルール遵守・確認	渡井	材料梱包用の添木の分別、取引先への返却徹底					木製パレット制限、プラスチック活用との定着化						
	★	マニフェスト報告書の提出	維持管理	勝亦	マニフェスト報告書提出					★電子マニフェスト導入説明会						
5Sの推進	★	工場掲示板整備と品質、環境、安全連絡の徹底	改善・確認	渡井	★組立作業場の改善				★金型ラックの移動		★組立用仕掛品置場の整備					
◆総排水量削減																
水使用量の削減（節水）		手洗い、洗物の節水と水廻り清掃	ルール遵守・確認	志村	節水呼びかけ、節水ラベルで意識付け											
		月1回水使用量、漏水の点検	ルール遵守・確認	志村	水道メーターの量の記録と漏水確認											
		スポット溶接機冷却装置の維持管理	維持管理	志村	冷却水の定期補充とタンク内の定期清掃											
		貯水槽点検・清掃/浄化槽定期清掃・法令検査	維持管理	勝亦			定期清掃			定期清掃			定期清掃	法令検査3/	定期清掃3/	
◆化学物質使用量削減																
アルコール・洗浄液適切な管理		アルコール・洗浄液の適切な管理	維持管理	勝亦	SDS設置、溶剤専用容器の使用と危険物保管庫での施錠管理											
◆グリーン購入への取り組み																
エコ製品購入(事務用品)		エコ商品の積極的購入	購入比率	望月智	事務用品カタログでのエコ商品選定											
◆製品・サービスへの環境配慮																
顧客満足度の向上		客先納入不良件数の削減(Aランク不良)	不良件数	勝亦	不良発生対策の維持管理と標準作業の推進											
		スポット溶接不良の削減	不良件数	志村	標準作業の徹底指導											
	★	組立作業場の整備と作業改善	改善・確認	渡井						★仕掛品、完成品置き場整備		★組立作業場整備				
◆SDGsの取り組み																
SDGsの取り組み	★	私のSDGs宣言 半期毎 チェック	計画・実施	勝亦	私のSDGs宣言6か月自己評価					1年活動自己評価						
	★	KPI設定の推進と実施フォロー	計画・実施	伊藤	★商工中金PFI融資準備			KPI設定・評価書作成・第三者機関認定								
	★	ダイバーシティ推進、人材育成強化	計画・実施	伊藤							★ダイバーシティ推進、人材育成の計画					
◆その他																
環境教育		EMS会議で生産・品質・安全の報連相徹底	実施・確認	勝亦	EMS取組の月次報告の徹底											
防災訓練	★	緊急想定訓練の計画と実施	計画・実施	菊池		防災設備点検5/		★防火設備機器の更新、追加8/			防災設備点検11/			訓練計画	防災訓練	
清掃活動		工場敷地内外の清掃美化活動	計画・実施	渡井	金型作業場レイアウト変更		プレス工場通路ペンキ塗り		緑地雑草対策							
安全・労働衛生活動		安全作業と快適な職場環境整備	計画・実施	渡井	健康診断		技能実習生4名入社	ストレスチェック		歩行通路の安全整備						

V. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

<改善活動>

2023年度の取り組み内容



1. プレス製造体制の強化

現在開発中の新規部品、順送プレス製作のニーズに対応するため、300tサーボプレスを導入した。サーボモータにより停止時間は電力の消費が無く節電効果が期待できる。
今後は段取時間の短縮と生産性向上を推進し電力使用量削減を目指す。



2. スポット溶接機の更新

スポット溶接の品質向上を目的にインバータ溶接機、50KVA抵抗溶接機を導入した。現行機と比較して最大電流がアップし溶接強度が安定した。またインバータ溶接機は溶接条件やチップ管理を液晶画面で管理出来る為、標準作業の管理が楽になり品質向上に繋がった。



3. NC抜き曲げ工程生産実績見える化

NCパンチ・レーザー複合機2基、NCプレスブレーキ4基の生産実績を大型モニターで見える化した。全作業員が生産状況や停止時間を共有し、生産上の問題点や課題を改善していく為のツールとして利用している。



4. モーターベース 組立作業の改善

モーターベースの組立治具にセンサーやポカヨケカウンタを取り入れ、組立ミスをブザー音で知らせるようにした。これにより欠品や誤品の取付が見つかり品質が安定した。また作業負担が軽減され生産性向上に繋がった。

V. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

<消防訓練及び環境上の緊急事態への対応>

想定される環境上の緊急事態に対し、環境への影響を最小限に食い止め、内外への連絡を円滑に行なえる様、可能な範囲で緊急対策訓練を実施する。

想定される緊急事態	想定される緊急時の状況	対応策
就業中に怪我人を発見	出血している	他人の血液が付かないよう手袋をする（ビニル袋など） 清潔なガーゼやハンカチを傷口に当て、圧迫する 包帯（タオル、ウエス）等できつく巻く 傷口はなるべく心臓より高く挙げる 血が止まらないときは両手で圧迫止血する 救急隊が到着するまで出血部位を押さえ続けること
就業中に転倒者を発見	意識がない	周囲の安全を確認する 肩を軽くたたいて「大丈夫ですか」と声を掛ける（反応なし） 応援を呼ぶ。「AEDを持ってきて下さい」「119に電話して下さい」 呼吸をみる（呼吸が無い、途切れ途切れ） 胸骨圧迫を行う（胸の真ん中を約5cm下方に圧迫・100～120回/分） AEDが届いたら開け、パッドを貼りAEDのメッセージに従う

【訓練記録】

訓練日	想定される緊急時の状況	対処・訓練等
2024/4/19	出血している人を発見	消防隊員から止血方法を学び、2名1組になってタオル使って止血の練習を行った
参加者	57名	
評価と改善策	消防隊員から直接圧迫止血についてやり方を学んだ。その際の注意点などの知識を得る事が出来た。タオルを使って止血の練習を行い、締め付ける力など感覚を確認した 今回学んだ止血方法を防災訓練の練習に取り入れていく	

訓練日	想定される緊急時の状況	対処・訓練等
2024/4/19	転倒して意識が無い	心肺蘇生の手順と注意事項、搬送方法の説明を聞き実際にやって体験した
参加者	57名	
評価と改善策	心肺蘇生の手順を一通り学んだが、有事の際、冷静に手順通りに行うことが大切だと感じた 次回の防災訓練で心肺蘇生の練習を取り入れていく	

【訓練の様子】

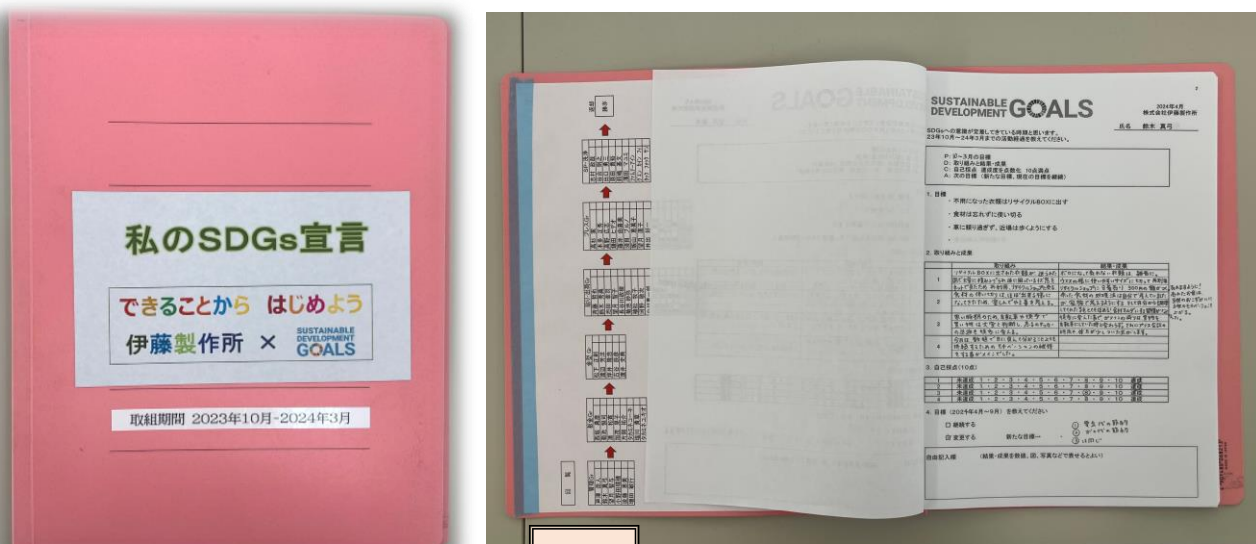


V. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

■ SDGsの取り組み

取組期間 2023年4月～2024年3月

私のSDGs宣言(成果報告書)



2. 取り組みと成果

	取り組み	結果・成果
1	リサイクルBOXに出された衣類が、送られた国で大量に積み上げられ逆に困っている状態をネットで見ため、再利用、リサイクルショップに売る。	ボロになって売れない衣類は、新布に。ウエスの様に使いやすいサイズにセカって再利用
2	食材の使いかたは、ほぼ出来る様になってきたため、楽しんでやる事を考える。	リサイクルショップに8着売り 300円の額がズ 余った食材の処理法は自分で考えていきた が、家族で考えるようにする。そして自分から調理 してくれたることもほめる。食材をムダにする習慣がなくな
3	寒い時期のため、自転車や徒歩で買い出しは大変と判断し、息子のサッカーの迷いを徒歩に変える。	徒歩に変えた事で、ガソリンの減りは夏物を自転車にしていた時と変わらず。それにプラス会話の 時間や、体力が少なくなった気がします。
4	今日は、教値で目に負えて分かることよりも 持続するためのモチベーションの維持 をすることがメインでした。	

3. 自己採点(10点)

	未達成	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	達成
1												
2												
3												
4												

4. 目標(2024年4月～9月)を教えてください

☐ 継続する ☐ 変更する

① 電気代の節約
② ガス代の節約
③ は同じ

新たな目標→

私のSDGs活動は開始から1年半が経ち、報告書(目標、結果と成果、自己採点)は今回3回目になりました。活動結果の内容からひとりひとりできることを活動していることがわかり、少しずつですがSDGsの活動が浸透してきていると感じます。

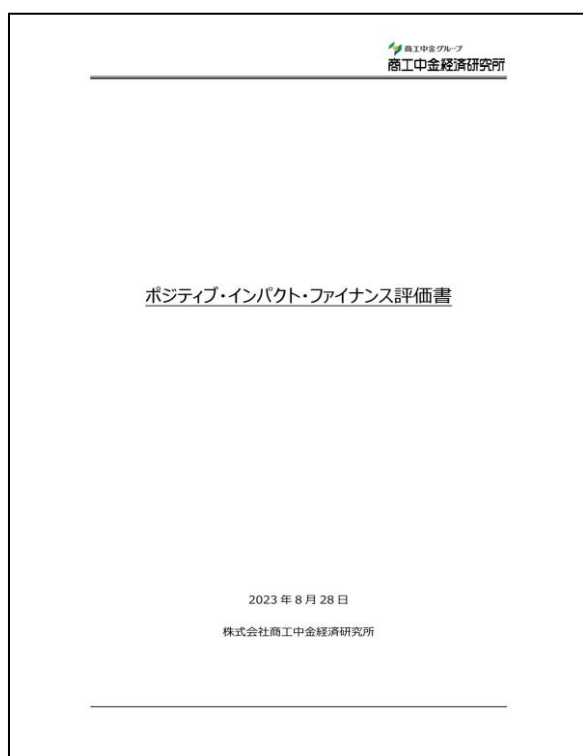
今期から活動意欲と成果が認められた人に贈られる従業員表彰を始めました。これからもコツコツと続けられる活動にしていきたいと思います。

V. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

■ ポジティブ・インパクト・ファイナンス（P I F）の活用※1

＜取り組み＞

1. 当社事業活動において「環境」・「経済」・「社会」にもたらしている
ポジティブインパクト、ネガティブインパクトを分析し特定
2. ポジティブ増大、ネガティブを緩和させるためのKPIを設定※2
3. 評価書を作成し第三者機関に提出、意見書を発行・取得 → P I F 融資実行



※1 ポジティブ・インパクト・ファイナンスとはサステイナブル経営（ESG・SDGsの取組）への伴走支援型融資

※2 KPI=「重要業績評価指数」

当社の事業活動を踏まえ特定したインパクトと取組内容を計画した

■ ポジティブインパクト



インパクト	取組内容	KPI
教育	従業員スキル向上に向けた取組み	スキルマップ作成
雇用、包摂的で健全な経済	ダイバーシティ推進	くるみん認証取得
雇用	幸せデザインサーベイの導入	HDS導入実施
エネルギー、経済収束	新規事業売上の増加、取引先と共同開発、製品製造、BCP強化	部門売上6百万円

■ ネガティブインパクト



インパクト	取組内容	KPI
教育	従業員のスキル向上に向けた取組み	ea21設定目標 達成に向けた取組
雇用	従業員の働きやすさを改善していく取組み	
水	従業員の節水意識向上による水使用量削減	
大気	社用車利用時のエコドライブ推進による排気ガス削減	
気候	節電効果が高い機械の導入による温室効果ガス削減	
廃棄物、資源効率・安全性	不良発生を低減させる取組、エコ製品購入による資源効率向上	

V. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

■ はばたく中小企業・小規模事業者300社



経済産業省・中小企業庁2023年度「はばたく中小企業・小規模事業者300社 事業再構築・生産性向上部門」に選定戴きました

■ 主なポイント

家電・自動車業界の軽量化や材質変更に伴う更なる付加価値向上や改善が求められている中、サーボプレスを利用した独自の工法や、新たな事業分野への応用展開、生産性向上

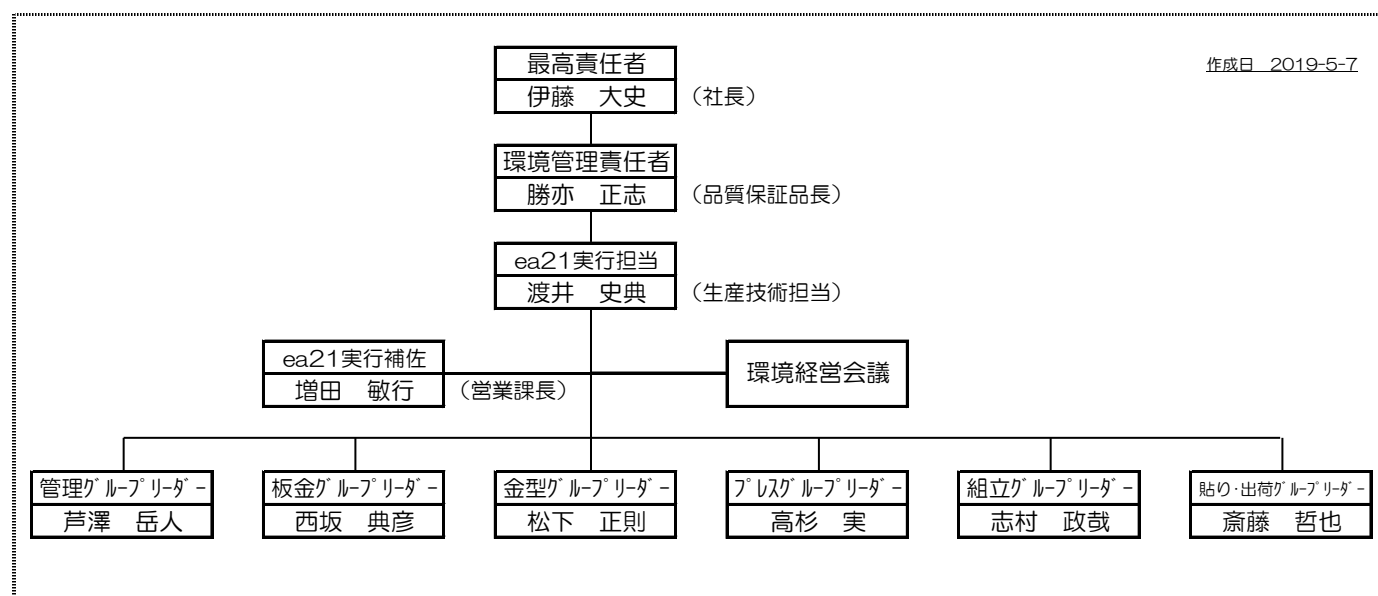
■ 代表取締役 コメント

経済産業省、中小企業庁が経済社会構造やより変化の激しい時代に対応し、事業変革や新規事業に挑戦している中小企業に与えられる表彰制度とし、この度「2023年度はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定戴きました。ものづくりを通じ様々な困難やチャレンジ、独自の製造工法を社員一同継続して取り組んできたことが選出の大きなポイントであり大変光栄に思っております。日々変化する社会環境の中、今回の受賞に満足することなく更なる励みとして、これからも創意工夫と終わりのなき改善活動を社員一同今後とも精進して参ります。

代表取締役 伊藤 大史

V. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

<実施体制>



(役割・責任及び権限)

最高責任者

- ・ 経営における課題とチャンスの明確化
- ・ 環境経営システムの構築、マニュアルの制定及び承認
- ・ 環境経営方針・環境経営目標の策定及び見直し
- ・ 環境経営計画の承認
- ・ 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な資源の提供
- ・ 緊急事態発生時の統括

環境管理責任者

- ・ 環境経営計画の策定と推進
- ・ 環境法規等の把握及び見直し
- ・ 環境教育の統括
- ・ 環境経営システムの評価、見直し及び報告
- ・ 環境経営システムの維持管理

ea21実行担当、実行補佐

- ・ 環境経営計画の推進と実行
- ・ 環境法規等の把握と管理
- ・ 環境教育の計画
- ・ 環境経営システムの評価、見直し
- ・ 環境経営システムの維持管理

各グループリーダー

- ・ 環境経営計画の周知と実行
- ・ 環境法規等の把握及び遵守
- ・ 環境教育の推進
- ・ 環境経営システムの評価、見直し
- ・ 環境経営システムの維持管理

従業員

- ・ ea21活動を理解し、自主的、積極的に活動へ参加
- ・ 環境法規等の自覚及び遵守

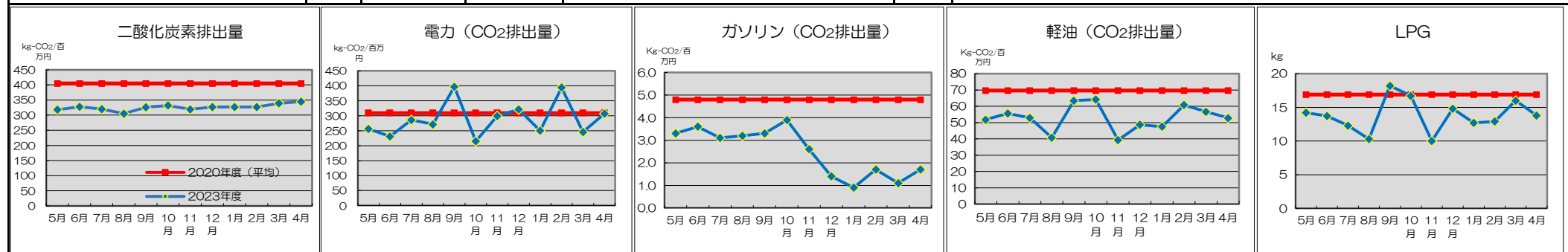
VI. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標項目	推進部門	単位	基準値	目標実績	環境経営目標値	
			2020年度		2023年度	
			5月～4月		5月～4月	
二酸化炭素排出削減 （省エネルギー） *1	全体	%	—	目標	-3	
		kg-CO2/百万円	—		406	
		kg-CO2	—		365,220	
		%	100	実績	-17	
		kg-CO2/百万円	419		349	
		kg-CO2	374,819		358,834	
		—	—	評価	○	
	電力使用量	本社	kwh	601,741	実績 （総量）	596,861
			kg-CO2	265,368		263,215
		西山	kwh	37,944		36,650
			kg-CO2	16,733		16,163
		全体	kwh	639,685		633,511
			kg-CO2	282,101		279,378
	ガソリン使用量	全体	ℓ	1,872		1,108
			kg-CO2	4,345		2,572
	軽油使用量	全体	ℓ	24,000		20,433
			kg-CO2	62,976		53,616
	灯油使用量	本社	ℓ	3,600		3,217
			kg-CO2	8,971		8,017
		西山	ℓ	400		441
			kg-CO2	997		1,099
		全体	ℓ	4,000		3,658
			kg-CO2	9,968		9,116
	LPG使用量	全体	kg	5,143		4,717
			kg-CO2	15,429		14,151
	廃棄物排出量削減（リサイクル推進）					
	一般廃棄物排出量削減 （リサイクル） ダンボール、新聞紙、コピー紙	全体	%	—	目標	-1
			kg/百万円	—		2.71
			%	100	実績	-24
			kg/百万円	2.73		2.10
kg			2,444	2,120		
—			—	評価	○	
一般廃棄物排出量削減 （最終処分） 可燃ごみ	全体	%	—	目標	-1	
		kg/百万円	—		5.45	
		%	100	実績	-28	
		kg/百万円	5.50		3.90	
		kg	4,920		4,015	
		—	—	評価	○	
産業廃棄物排出量削減 （リサイクル） 木くず、廃プラスチック	全体	%	—	目標	-1	
		kg	—		6,791	
		%	100	実績	-46	
		kg	6,860		3,700	
		—	—	評価	○	
総排水量削減（節水）						
水使用量削減	全体	%	—	目標	-1	
		m³	—		577	
		%	100	実績	-16	
		m3（本社工場）	495		437	
		m3（西山工場）	88		54	
		全体	583	評価	○	

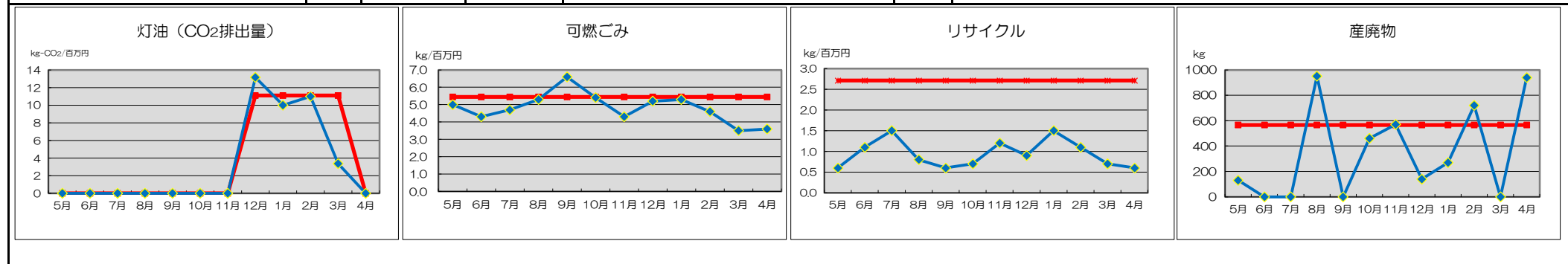
*1 二酸化炭素排出係数は 0.441kg-CO₂/kwh (東京電力EP 2019年)を使用した。

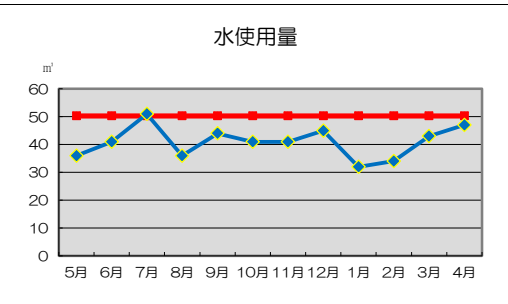
Ⅵ. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

取組項目 (単位)	目標と実績	基準年度比	取組実績	評価	達成事項、問題点、次年度取組内容
二酸化炭素排出量削減 (kg-CO ₂ /百万円)	目標値 406 実績値 349	-3% -17%	基準年度比目標-3%に対し、実績は-17%となり目標を達成することが出来た。	○	2023年度二酸化炭素排出量削減目標を達成することが出来た。次年度も設備投資を進め、効率の良い仕事を進めていく。
1. 電力使用量削減 (kg-CO ₂ /百万円)	目標値 306 実績値 272	-3% -11%	6月に300tサーボプレスを導入した。クランクプレスに比べ10~20%省エネ	○	250tプレスを主力機として使用していたが300tサーボプレスを主力機として導入。次年度はサーボプレス生産性向上と電力量削減を目標に活動を行う。
2. ガソリン使用量削減 (kg-CO ₂ /百万円)	目標値 4.8 実績値 2.5	-1% -48%	エコドライブ、安全を心掛けて運転出来た。	○	ガソリン使用量削減は-20%で目標を達成出来た。営業活動がメール、電話、リモート等に変わりつつある。次年度も引き続きガソリン使用量削減を推進していく。
3. 軽油使用量削減 (kg-CO ₂ /百万円)	目標値 69.7 実績値 52.1	-1% -25%	エコドライブ、安全を心掛けて運転出来た。4tトラック更新、10tトラックを導入。	○	輸送車両の老朽化、出荷品の増加に伴い、4tトラック2台を新型10tトラックに更新した。次年度は出荷作業と運搬の効率化を推進していく。
4. 灯油使用量削減 (kg-CO ₂ /百万円)	目標値 11.1 実績値 6.8	0% -39%	出荷作業場の一部をテント倉庫に移転した為大型ストーブを設置した。	○	作業者の増加でストーブの追加購入を行った。今後灯油の購入量が増えていくと思われるが、購入量をコントロールしながら目標を達成していく。
5. LPG使用量削減 (kg-CO ₂ /百万円)	目標値 16.7 実績値 14.0	-3% -18%	LPG燃料の価格高騰によりコスト意識定着。フォークリフトのアイドリングストップ定着。	○	フォークリフト作業の停止時、アイドリングストップを徹底。次年度も構内7km/時を周知し安全運転とLPG節約を徹底していく。



取組項目 (単位)	目標と実績	基準年度比	取組実績	評価	達成事項、問題点、次年度取組内容
◆廃棄物排出量削減					
① ダンボール、新聞紙、コピー紙 (kg/百万円)	目標値 2.71 実績値 2.10	-1% -24%	ダンボール、新聞紙、コピー紙に加え断熱材剥離紙をリサイクルする流れを構築した。	○	ダンボールからブラダンボールへと変更が進み、ダンボール排出量が減少した。断熱材剥離紙を月2回収してもらった。次年度は回収量の向上に取り組む。
② 可燃ごみ (kg/百万円)	目標値 5.45 実績値 3.90	-1% -28%	鋼材包装紙を製品保護に活用を推進した。	○	材料包装紙 (片面ラミネート) のリユースが定着した。使い終わったものは燃えるごみになっているがリサイクルに回し、燃えるごみを減らす活動を推進していく。
③ 木くず、廃プラスチック (kg)	目標値 6,791 実績値 3,700	-1% -46%	鋼材梱包用木枠を仕入先に引き取ってもらい社内の処分量を減らした。	○	鋼板の梱包木枠返却を推進し木くずの排出量が減っている。廃プラも減少した。次年度も継続して削減に取り組んでいく。

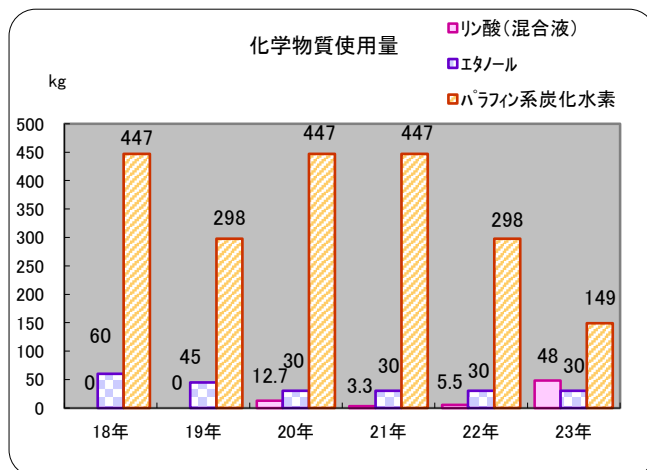
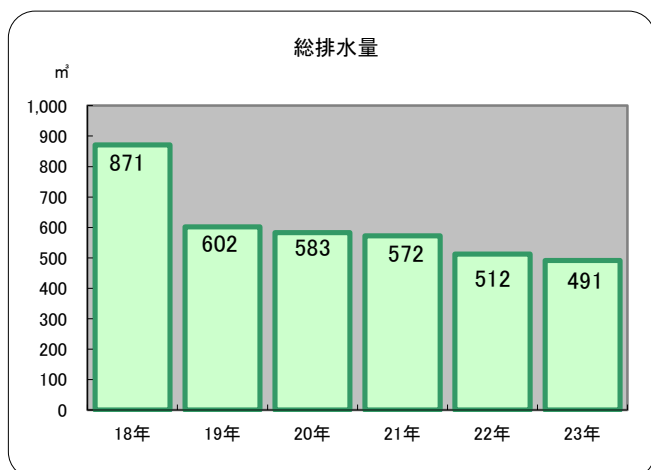
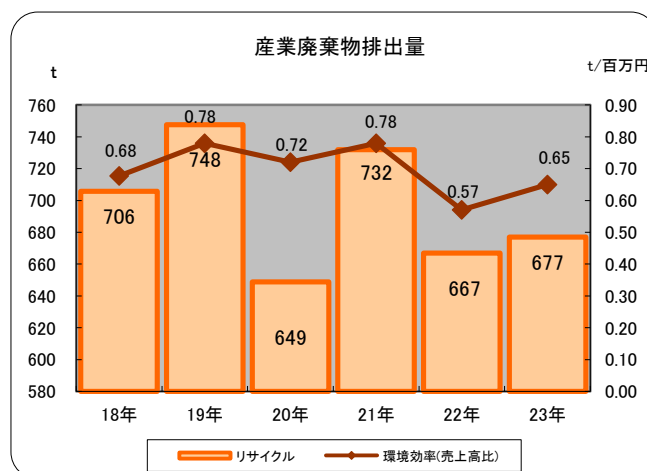
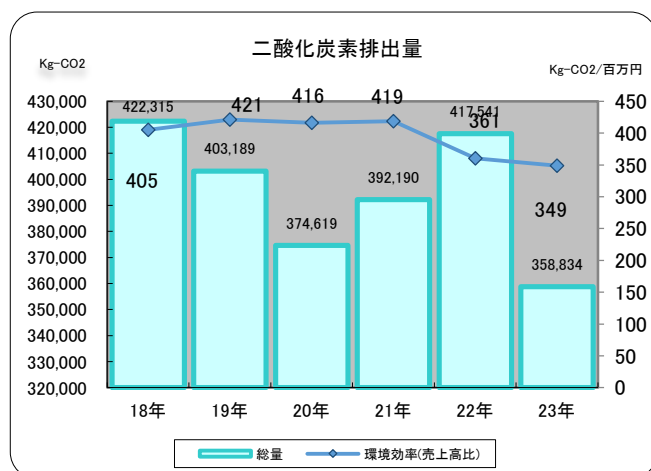


取 組 項 目 (単位)	目標と実績			基準年度比	取 組 実 績	評価	達成事項、問題点、次年度取組内容
◆総排水量削減							
水使用量の削減 (m ³)	目標値	577	-1%	毎月初に水使用量をチェックし漏水が無い か確認した。貯水槽の清掃を実施。	○	本社、西山工場とも水使用量の目標を達成した。今期漏水、配管修理は無かった。 次年度も引き続き水使用量を削減し安心安全の水を供給出来るようにする。	
※実績値は（本社と西山工場の合計）	実績値	491	-15%				
水使用量 							
◆化学物質使用量削減							
アルコール・洗浄液の適切な管理	目 標	適切な管理	—	専用容器を使って管理を行った。 洗浄液の表示保管、保管量を適切に管理した。	○	使用量は減っているが、たくさんの人が使用する為、識別表示、ペール缶の施錠管理を 実施した。次年度も引き続きアルコール・洗浄液の管理を実施していく。	
	実 績	継続実施	—				
◆グリーン購入への取り組み							
エコ製品購入(副資材,事務用品)	目標値	50%	—	副資材、事務用品のエコ製品を積極的に購入 し目標を達成した。	○	エコラベルのついた環境負担の少ない製品を必要な量を検討して購入した。 次年度も引き続きエコ製品購入を取り組む。	
	実績値	68%	—				
◆製品・サービスへの環境配慮							
客先納入不良件数の削減 (Aランク不良)	目標値	50%	—	品質意識向上を目的に全社員に品質標語を 募集。客先品質実査と定期監査を受けた。	○	Aランク不良目標を達成した。品質に関する標語を社内で募集し品質意識の維持向上 を図った。品質規定・記録の見直しを実施し品質体制を見直した。次年度も継続する。	
	実績値	50%	—				
スポット溶接不良の削減	目標値	50%	—	スポット溶接機を2基更新、電流測定・加圧 力測定、外部指導員による溶接講習を実施した。	○	スポット不良半減目標を達成した。不良発生の原因を追究し設備更新や溶接条件の 見直しを行い不良を削減した。次年度は生産性向上を目標に改善を行っていく。	
	実績値	50%	—				
◆その他							
①環 境 教 育	目 標	12	100%	毎月末に環境経営会議を実施。 毎週末に生産調整ミーティングを実施。	○	環境経営会議を毎月実施した。次年度から会議資料の説明を大型画面で行い、 紙資料の配布を減らしていく。	
	実 績	12	100%				
②防 災 訓 練	目 標	1	100%	避難訓練、消防署に救命救護講座を依頼し 実施した。防火設備の更新を推進した。	○	今年度、火災受信機を交換、工場横倉庫に電熱線を追加設置工事を行った。 次年度は非常口灯、消火ホース交換、消火栓移動を計画していく。	
	実 績	1	100%				
③清 掃 活 動	目 標	3	100%	工場と敷地内外を毎週末10分清掃を開始した。 全従業員の5S意識が上がった。	○	工場周辺のゴミや草木の落ち葉等を回収し敷地内外とも綺麗になり従業員の5S意識が 上がったと感じる。次年度も継続して10分間清掃を行っていく。	
	実 績	3	100%				
④安 全 衛 生 活 動	目 標	12	100%	通路の交差点に停止線を引いた。工場出口に 歩行者を光や音で知らせるセンサーを設置した。	○	工場内の不安全箇所を調査し、通路へのはみだしや積載物の影などに危険が潜んで いることに注目し、光や音で注意を促し安全対策を進めた。次年度も推進していく。	
	実 績	12	100%				
⑤SDG sの取り組み	目 標	—	—	商工中金のポジティブインパクトフィナンス 契約の為に準備と締結を行った。	○	商工中金、商工経済研究所伴走支援の環境/社会/経済(ESG)インパクトを特定した。 設定したポジティブ・ネガティブKPIを目標にSDGs活動を取り込んでいく。	
	実 績	—	—				

Ⅵ. 環境負荷の状況

環境への負荷			単位	2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素排出量	二酸化炭素		kg-CO ₂	372,242	392,190	417,541	358,834
	(電力)		kg-CO ₂	282,101	300,672	327,741	279,379
	※1 (化石燃料)		kg-CO ₂	90,141	91,518	89,800	79,455
	(使用した二酸化炭素排出係数)		kg-co2/kwh	0.453(5~7月) 0.441(8~4月)	0.441	0.441	0.441
廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	リサイクル	t	2	2	1	2
		熱利用	t	5	5	6	4
		最終処分量	t	0	0	0	0
	産業廃棄物	中間処理	t	648.9	732.1	667.3	677.2
		リサイクル	t	648.9	732.1	667.3	677.2
		最終処分量	t	0.5	0.3	0.2	0.0
総排水量	公共用水域		m ³	583	572	512	491
水使用量	上水・地下水		m ³	583	572	512	491
化学物質使用量	リン酸(混合液)		kg	13	3	6	48
	エタノール		kg	30	30	30	30
	パラフィン系炭化水素		kg	447	447	298	149

※1. (化石燃料)にLPGの排出量が含まれる。LPG排出量削減目標、計画及び取り組みは2021年から開始した。



VI. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

○ よく出来た

△ もっとがんばりたい

× 出来なかった

★印＝新たな取り組み

2023 年度 活 動 計 画 内 容		手 段	推進者	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	活動評価
◆二酸化炭素排出量削減																
電力消費量の削減	昼休み、使用時以外の照明消灯	ルール遵守・確認	増田	昼休み時間の消灯推進												○
	空調の適温化(設定温度：夏28℃冬20℃)	ルール遵守・確認	望月		28℃設定	←					20℃設定	←				○
	エアコンフィルターの定期清掃	ルール遵守・確認	勝亦			フィルタ清掃					フィルタ清掃					○
	エアコン、冷却機器の簡易点検	法令順守・確認	坪井	点検と記録			点検と記録			点検と記録		点検と記録				○
	PC、OA機器の省電力化設定にする	ルール遵守・確認	芦澤	P Cスクリーンセ이버、コピー機節電待機モードの実行												○
	夜間、休日のOA機器の主電源をオフする	ルール遵守・確認	芦澤	退勤時の主電源オフを徹底												○
	クールビズ・ウォームビズの励行	ルール遵守・確認	勝亦	ブラインド、作業着軽装対応												○
	★コンプレッサー昼休み時間の停止	ルール遵守・確認	高杉/志村	昼休み時間のスイッチオフ						377° レッサー-更新見積実施、17流量調査実施 11/24→次年度補助金で377° 更新計画						○
	ピークデマンドの監視と月例報告	維持管理	勝亦													○
	★新設備導入による省エネと生産性向上	改善・確認	伊藤	★インバータ制御機5/25		★300tボンプ1台、80tボンプ導入6/17		★大型プレス生産性について現状調査と生産性向上に向けた改善 10～3月(次年度も継続)								△
化石燃料の削減	灯油	改善・確認	勝亦							灯油使用量の管理推進		←				○
	ガソリン、軽油	改善・確認	池田													○
	LPG	ルール遵守・確認	池田	構内速度7km/h周知												○
◆廃棄物排出量削減																
一般ゴミの削減		ルール遵守・確認	高杉	個人ゴミを持ち込まないを徹底												○
ゴミ分別とリサイクルの推進	★ダンボール、包装紙分別、リサイクルの励行	ルール遵守・確認	高杉	分別の呼びかけと定期確認		材料包装紙(難処理古紙)のリサイクル開始 8/8										○
	コピー紙の両面積極的使用	ルール遵守・確認	芦澤	コピー裏紙使用の推進												○
	PPバンド、容器袋の再利用推進	ルール遵守・確認	池田	使い終わったPPバンドやビニール袋の回収と再利用推進												○
産廃物の削減	木枠、プラ容器パレットの返却と置場整頓	ルール遵守・確認	渡井	材料梱包用の添木の分別、取引先への返却徹底						木製パレット制限、プラパレット活用への定着化						○
	★マニフェスト報告書の提出	維持管理	勝亦		マニフェスト報告書提出6/12					★電子マニフェストR6年導入を検討 8/23						○
5Sの推進	★工場掲示板整備と品質、環境、安全連絡の徹底	改善・確認	渡井	★組立作業場の改善				★金型377°の移動		★組立用仕掛品置場の整備						△
◆総排水量削減																
水使用量の削減 (節水)	手洗い、洗物の節水と水廻りの清掃	ルール遵守・確認	志村	節水呼びかけ、節水ラベルで意識付け												○
	月1回水使用量、漏水の点検、貯水槽の清掃	ルール遵守・確認	志村	水道メーターの量の記録と漏水確認												○
	スポット溶接機冷却装置の維持管理	維持管理	志村	冷却水の定期補充とタンク内の定期清掃												○
	浄化槽定期清掃・法令検査	維持管理	勝亦		定期清掃6/22					定期清掃10/5			定期清掃3/8 法定検査3/22			○
◆化学物質使用量削減																
アルコール・洗浄液適切な管理	アルコール・洗浄液の適切な管理	維持管理	勝亦	SDS設置、溶剤専用容器の使用と危険物保管庫での施錠管理												○
◆グリーン購入への取り組み																
エコ製品購入(事務用品)	エコ商品の積極的購入	購入比率	望月智	事務用品カタログでのエコ商品選定												○
◆製品・サービスへの環境配慮																
顧客満足度の向上	客先納入不良件数の削減(Aランク不良)	不良件数	勝亦	不良発生対策の維持管理と標準作業の推進												○
	スポット溶接不良の削減	不良件数	志村	標準作業の徹底指導											不良件数目標達成	○
	★組立作業場の整備と作業改善	改善・確認	渡井							★仕掛品、完成品置き場整備					★副資材棚設置4/5	△
◆SDGsの取り組み																
SDGsの取り組み	★私のSDGs宣言 半期毎 チェック	計画・実施	勝亦	★私のSDGs宣言6か月自己評価						★1年活動自己評価	★SDGs取組個人表彰12/27					○
	★KPI設定の推進と実施フォロー	計画・実施	伊藤	★商工中金PIF融資準備			KPI設定・評価書作成・第三者機関認定8/28									○
	★ダイバーシティ推進、人材育成強化	計画・実施	伊藤							★ダイバーシティ推進、人材育成の計画						△
◆その他																
環境教育	EMS会議で生産・品質・安全の報連相徹底	実施・確認	勝亦	EMS取組の月次報告の徹底												○
防災訓練	★緊急想定訓練の計画と実施	計画・実施	菊池		防災設備点検5/24		★防災設備機器の更新、追加8/8				防災設備点検11/29			訓練計画3/15 防災訓練4/19		○
清掃活動	工場敷地内外の清掃美化活動	計画・実施	渡井	金型作業場レイアウト変更		プレス工場通路ペンキ塗り		緑地雑草対策								○
安全・労働衛生活動	安全作業と快適な職場環境整備	計画・実施	渡井	健康診断5/31		技能実習生4名入社7/6		ストレスチェック7/25		歩行通路の安全整備						○

VII. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

★印＝新たな取り組み

2024 年 度 活 動 計 画 内 容			手 段	推進者	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
◆二酸化炭素排出量削減																
電力消費量の削減	昼休み、使用時以外の照明消灯	ルール遵守・確認	増田	昼休み時間の消灯推進												→
	空調の適温化(設定温度：夏28℃冬20℃)	ルール遵守・確認	望月	28℃設定	←							20℃設定	←			→
	エアコンフィルターの定期清掃	ルール遵守・確認	勝亦			フィルタ清掃						フィルタ清掃				
	エアコン、冷却機器の簡易点検	法令順守・確認	坪井	点検と記録				点検と記録			点検と記録			点検と記録		
	PC、OA機器の省電力化設定にする	ルール遵守・確認	芦澤	PCスクリーンセ이버、コピー機節電待機モードの実行												→
	夜間、休日のOA機器の主電源をオフする	ルール遵守・確認	芦澤	退勤時の主電源オフを徹底												→
	クールビズの励行	ルール遵守・確認	勝亦			猛暑対策展参加・熱中症対策					→					
	コンプレッサー昼休み時間の停止	ルール遵守・確認	高杉/志村	昼休み時間のスイッチオフ												→
	ピークデマンドの監視と月例報告	維持管理	勝亦													→
	★新設備導入による省エネと生産性向上	改善・確認	勝亦	★中小企業等省エネ設備導入促進事業費補助金申請								→パッケージエアコン・コンプレッサー更新計画				
化石燃料の削減	灯油	冬季重ね着工夫の励行、作業環境改善	改善・確認	勝亦							灯油使用量の管理推進					→
	ガソリン、軽油	燃費集計、エコドライブ、安全な運転	改善・確認	池田	運搬作業、品揃え作業の多能工化			新人作業者OJT						→		
	LPG	★アイリフ時エンジン停止、フォークリフト安全速度運転	ルール遵守・確認	池田			構内7km走行の反復指導									→
◆廃棄物排出量削減																
一般ゴミの削減		個人が持ち込んだゴミは持ち帰る	ルール遵守・確認	高杉	個人ゴミを持ち込まないを徹底											→
ゴミ分別とリサイクルの推進		ダンボール、包装紙分別、リサイクルの励行	ルール遵守・確認	高杉	分別の呼びかけと定期確認											→
		コピー紙の両面積極的使用による購入量削減	ルール遵守・確認	芦澤	コピー裏紙使用の推進											→
		PPバンド、容器袋の再利用推進	ルール遵守・確認	池田	使い終えたPPバンドやビニール袋の回収と再利用推進											→
産廃物の削減	★	難処理古紙リサイクルと軟プラスチック分別	ルール遵守・確認	渡井	難処理古紙の収集定着			軟質プラスチック分別開始								→
		電子マニフェストによる手続き簡素化	維持管理	勝亦	★電子マニフェスト切替			★産業廃棄物報告書提出								
5Sの推進		工場掲示板整備と品質、環境、安全連絡の徹底	改善・確認	渡井												→
◆総排水量削減																
水使用量の削減（節水）		手洗い、洗物の節水と水廻り清掃	ルール遵守・確認	志村	節水呼びかけ、節水ラベルで意識付け											→
		月1回水使用量、漏水の点検	ルール遵守・確認	志村	水道メーターの量の記録と漏水確認											→
		スポット溶接機冷却装置の維持管理	維持管理	志村	冷却水の定期補充とタンク内の定期清掃											→
		貯水槽点検・清掃/浄化槽定期清掃・法令検査	維持管理	勝亦			定期清掃				定期清掃			定期清掃	法令検査3/	定期清掃3/
◆化学物質使用量削減																
アルコール・洗浄液・油・リン酸の適切な管理		アルコール・洗浄液・油・リン酸の保管、SDS	維持管理	勝亦	SDS設置、溶剤専用容器の使用と危険物保管庫での施錠管理											→
◆グリーン購入への取り組み																
エコ製品購入(事務用品)		エコ商品の積極的購入	購入比率	望月智	事務用品カタログでのエコ商品選定											→
◆製品・サービスへの環境配慮																
顧客満足度の向上	★	難処理古紙リサイクル率アップ	リサイクル率	望月		回収サイクル定着の確認					→		難処理古紙置場の管理			
	★	300tプレス段取り時間短縮による生産性向上	改善・確認	高杉		現状把握		屋外棚製作				不要金型整理			段取り人員補強	
◆SDGsの取り組み																
SDGsの取り組み		私のSDGs宣言 半期毎 チェック	計画・実施	勝亦	半期活動報告							半期活動報告				
	★	KPI設定の推進と実施フォロー	計画・実施	伊藤						KPI進捗フォロー（商工中金）						くるみん認証
	★	ダイバーシティ推進、人材育成強化	計画・実施	伊藤						海外実習生受け入れ（1名）			スキルマップ作成			幸せデザインサーベイ
◆その他																
環境教育		EMS会議で生産・品質・安全の報連相徹底	実施・確認	勝亦	EMS取組の月次報告の徹底											→
防災訓練		緊急想定訓練の計画と実施	計画・実施	菊池		防災設備点検5/		防災設備（ホース更新）				防災設備点検11/			訓練計画	防災訓練
清掃活動		工場敷地内外の清掃美化活動	計画・実施	渡井	連休前清掃	SP7 11/7 倉庫清掃		連休前清掃	生産終了金型整理と返却		→	連休前清掃	屋外金型ラック製作			→
安全・労働衛生活動		安全作業と快適な職場環境整備	計画・実施	渡井	健康診断	安全準備月間	安全規定整備									
工業団地の水道管理(会長職)	★	井戸洗浄工事、貯水槽清掃、貯水槽修繕、漏水対応	計画・実施	勝亦	工事打合せ		貯水槽清掃		漏水工事	井戸洗浄工事	配管修繕工事	水使用量集計	定例総会			

Ⅶ. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標項目	推進部門	単位	基準	目標	目標	
			2020年度		2024年度	
二酸化炭素排出削減 （省エネルギー） *1	全体	%	—	目標	−4	
		kg-CO2/百万円	419		402	
		kg-CO2	374,819		362,245	
	電力使用量	全体	kwh	639,685		614,098
			kg-CO2	282,101		270,817
	ガソリン使用量	全体	ℓ	1,872		1,853
			kg-CO2	4,345		4,301
	軽油使用量	全体	ℓ	24,000		23,760
			kg-CO2	62,976		62,346
	灯油使用量 *2	本社	ℓ	3,600		3,600
			kg-CO2	8,971		8,971
		西山	ℓ	400		400
			kg-CO2	997		997
		全体	ℓ	4,000		4,000
			kg-CO2	9,968		9,968
	LPG使用量	全体	kg	5,143		4,937
			kg-CO2	15,429		14,812
廃棄物排出量削減（リサイクル推進）						
一般廃棄物排出量削減 （リサイクル） ダンボール、新聞紙、コピー紙	全体	%	—	目標	−1	
		kg/百万円	2.73		2.71	
		kg	2,444		2,420	
一般廃棄物排出量削減 （最終処分） 可燃ごみ	全体	%	—	目標	−1	
		kg/百万円	5.50		5.45	
		kg	4,920		4,871	
産業廃棄物排出量削減（リサイクル） 木くず、廃プラスチック	全体	%	—	目標	−1	
		kg	6,860		6,791	
総排水量削減（節水）						
水使用量削減	全体	%	—	目標	−1	
		m3（全社）	583		577	
		m3（本社工場）	495	—	490	
		m3（西山工場）	88		87	

*1 基準年の二酸化炭素排出係数は 0.441 kg-CO₂/kwh (東京電力EP 2019年)を使用する。

*2 灯油使用量は売上高に比例せず、その年の気温に影響し、削減目標値の設定が難しいことから過去使用実績を踏まえて維持管理目標を設定する。

Ⅷ. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 適用される環境関連法規等とその遵守状況（2023年度：2023年5月～2024年4月）

法令・条例等	適用事項及び遵守内容	遵守状況
廃棄物処理法 (法12条2項、規8条) (法12条の3～5) (法12条の3、5)	木くず、廃プラスチック、廃油、廃酸、蛍光灯	
	囲い、表示板設置（60×60cm以上）	○
	産業廃棄物の収集、運搬、処分の委託契約	○
	産業廃棄物管理票の保管(A、B2、D、E票)	○
静岡県産業廃棄物の適正な 処理に関する条例 (条例8条) (条例10条) (法12条の3第6項)	産業廃棄物管理責任者の選任	△
	年1回実地確認（優良産廃事業者は不要）	△
	産業廃棄物管理票の交付状況報告	6/12提出
騒音規制法 静岡県生活環境の保全に関する条例 (法6条) (法5条) (条例52条) (法4条の3) (法3条の3)	騒音規制法に基づく特定施設の届出	○
	規制基準：第2種区域	○
	公害防止管理者の届出	○
	公害防止統括者の届出	○
振動規制法 静岡県生活環境の保全に関する条例 (法6条) (法5条) (条例79条) (法4条の3) (法3条の3)	振動規制法に基づく特定施設の届出	○
	規制基準：第1種区域の2	○
	公害防止管理者の届出	○
	公害防止統括者の届出	○
労働安全衛生法 (法22条) (法66条) (法606条、607条) (法604条、605条)	耳栓着用	○
	健康診断(年1回)	5/31実施
	温湿度確認	○
	照度、採光及び照明	○
浄化槽法 (法7条、11条) (法8条) (法9条)	定期検査(年1回)	3/22実施
	保守点検(年3回)	6/27、10/5、3/8
	清掃(年1回)	西山工場12/26、本社3/29
消防法 富士宮市火災予防条例 (9条の3) (第77条1項)	危険物の規制量未満での使用と保管	○
	消防法に準じた形で管理	○
	SDSの設置、保管	○
RoHS指令 REACH規則	材料、副資材RoHS適合品を購入	○
	RoHS適合品に識別表示し出荷	○
	REACH規制対象物質の含有量・無の報告	○
フロン排出抑制法 (法86条) (法第16条①) (法第43条) (法第45条)	適切な場所への設置	○
	機器の簡易点検	○
	点検等の履歴の保存(設置から廃却後3年保管)	○
	機器の廃却時、引取証明書の保管(3年)	○

○遵守 △非該当/継続 ✕未遵守

2. 環境関連法規等の遵守状況の評価結果

環境関連法規等の適用事項及び遵守内容に対する逸脱はありません。

3. 関係機関からの指摘、利害関係者からのクレーム等

過去3年間（2021年5月～2024年4月）、一切ありません。

法令等の最新情報は各WEBサイトで調べ、4/24に遵守状況を確認しました。

承認	確認
2024/4/27	2024/4/27
伊藤	勝亦

IX. 代表者による全体の評価と見直し・指示

作成

勝亦

作成 2024年 5月 30日

1・見直し関連情報	項 目		確認 (必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	☒	環境経営マニュアルを見直しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒	全ての目標を達成しました。
	3	環境経営活動計画及び取り組み実施状況	☒	環境活動計画に沿って取り組むことが出来ました。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	環境関連法規は遵守され問題ありません。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	外部からの苦情はありません。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒	特にありません。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒	特にありません。
	8	その他()	☒	特にありません。

代表者

伊 藤 大 史

2・代表者による全体評価・見直し指示	全体評価・コメント (環境経営システムの有効性、 環境経営への取組の適切性等)		前期を振り返ってみると省エネ型の加工設備を中心にその他にも追加投資を積極的に行った。また現場の2S改善活動を通して次に繋がる展開が出来た。また外部機関からも表彰を受けることが出来た。次期はそれらの活動をより定着させ一つ上の高みを目指して調和のとれた環境経営活動に取り組んでいく。	
	見 直 し 項 目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・ 無	
	2	環境経営目標・計画	有 ・無	難処理古紙・軟質プラごみ分別を推進する。
	3	環境経営活動計画・取組項目	有 ・無	SDGs(PIF)活動を積極的に推進する。
	4	環境経営に関する組織	有・ 無	
	5	その他のシステム要素	有・ 無	
	6	その他(外部への対応)	有・ 無	